

令和6年度卒後調査まとめ
 (令和4年3月 大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程前期課程修了生就職先事業所)

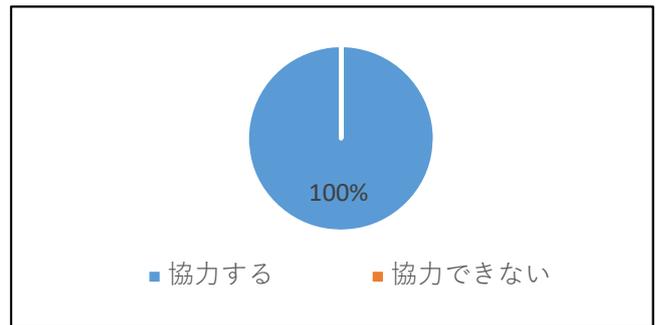
対象

卒後3年目 (R4.3月修了) の大学院薬学研究科薬科学専攻博士課程善意課程修了生 (3名) が在籍する事業所	3
回答事業所数	2
回答率	67%

回答期間：令和6年12月16日（月）～令和7年1月17日（金）

1) 調査回答について

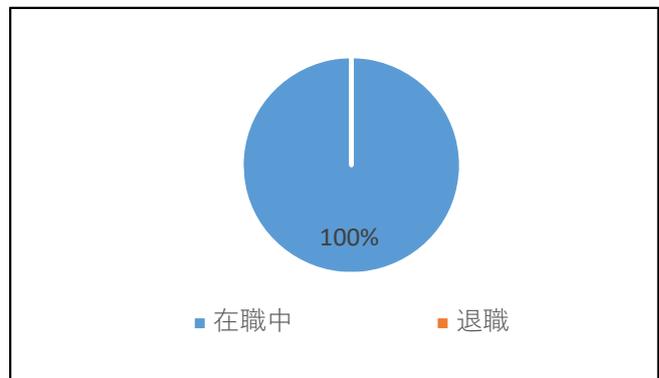
協力する	2
協力できない	
計	2



2) 在籍状況について

在職中	2
退職	
計	2

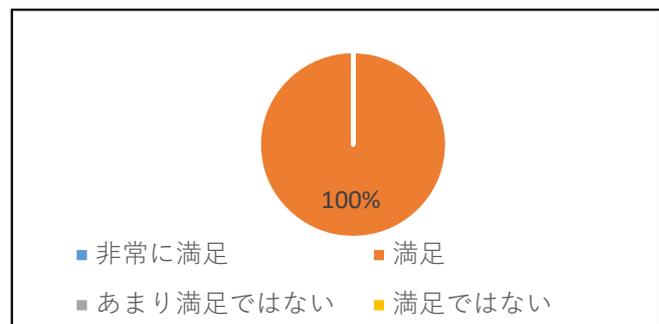
(名)



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。

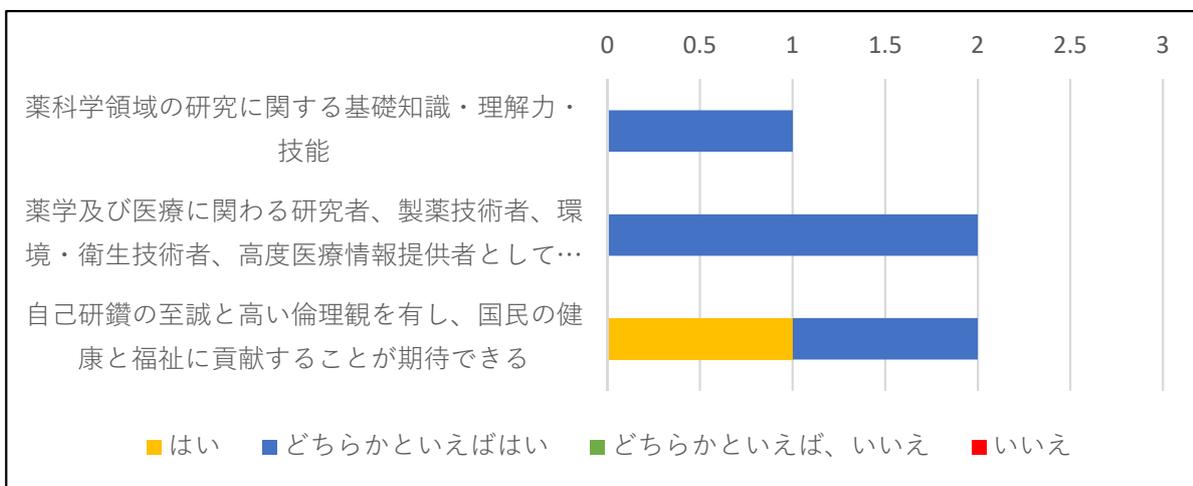
非常に満足	
満足	2
あまり満足ではない	
満足ではない	
計	2



4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

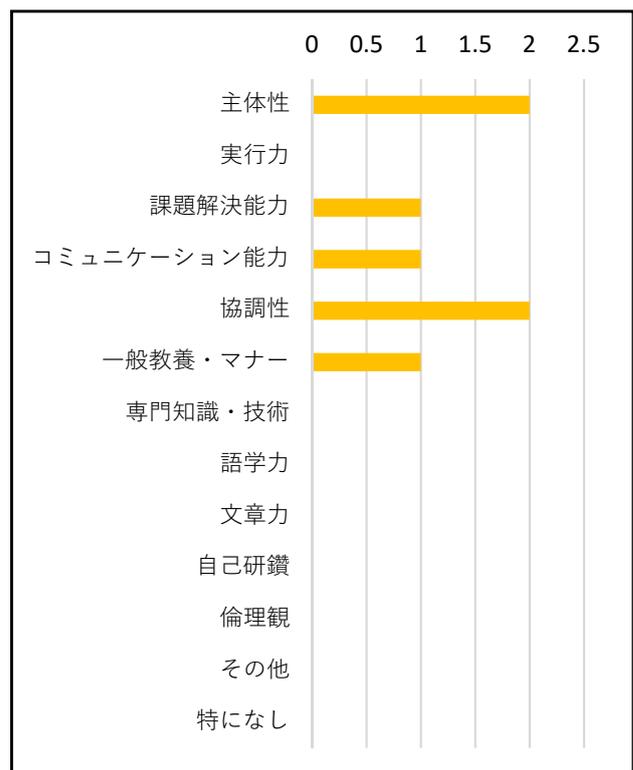
※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考にご回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
薬科学領域の研究に関する基礎知識・理解力・技能		1		
薬学及び医療に関わる研究者、製薬技術者、環境・衛生技術者、高度医療情報提供者としての基礎的能力		2		
自己研鑽の至誠と高い倫理観を有し、国民の健康と福祉に貢献することが期待できる	1	1		



5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）

主体性	2
実行力	
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	1
協調性	2
一般教養・マナー	1
専門知識・技術	
語学力	
文章力	
自己研鑽	
倫理観	
その他	
特になし	



6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	
実行力	
課題解決能力	
コミュニケーション能力	
協調性	
一般教養・マナー	1
専門知識・技術	
語学力	1
文章力	
自己研鑽	
倫理観	
その他	
特になし	



7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	
基礎学力	1
適性試験の結果	
主体性	1
実行力	
課題解決能力	
コミュニケーション能力	1
協調性	
人柄	1
今後の可能性	1
語学力	
取得資格	
その他	



8) その他意見

令和6年度卒後調査まとめ (令和4年3月 大学院 薬科学専攻博士課程 前期課程 修了生回答)

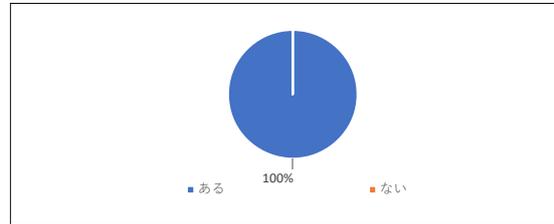
対象

卒後3年日 (R4.3月修了) の大学院薬科学専攻博士課程前期課程修了生	3	留学生含まず
回答者数	1	
回答率	33%	

回答期間：令和5年12月18日（月）～令和6年1月19日（金）

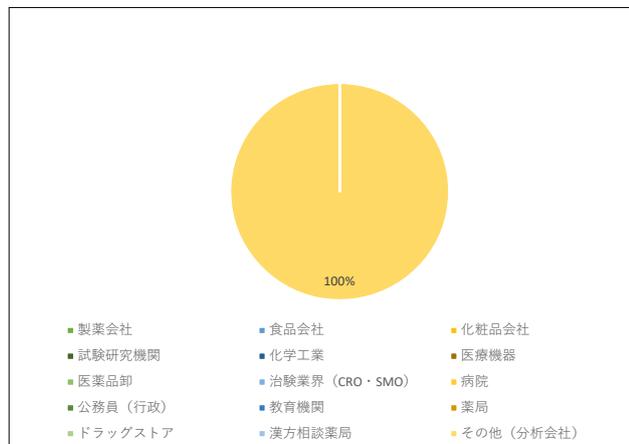
1) 修了後、就業したことはありますか？

ある	1
ない	0
計	1



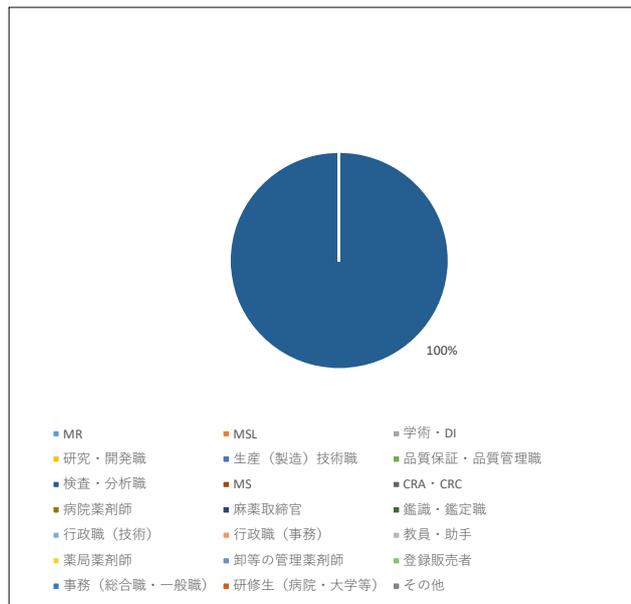
2) 修了後、最初に就職した事業所の業種について選択してください。

製薬会社	0
食品会社	0
化粧品会社	0
試験研究機関	0
化学工業	0
医療機器	0
医薬品卸	0
治験業界 (CRO・SMO)	0
病院	0
公務員 (行政)	0
教育機関	0
薬局	0
ドラッグストア	0
漢方相談薬局	0
その他 (分析会社)	1
計	1



3) 修了後、最初に就職した事業所の職種について選択してください。

MR	0
MSL	0
学術・DI	0
研究・開発職	0
生産 (製造) 技術職	0
品質保証・品質管理職	0
検査・分析職	1
MS	0
CRA・CRC	0
病院薬剤師	0
麻薬取締官	0
鑑識・鑑定職	0
行政職 (技術)	0
行政職 (事務)	0
教員・助手	0
薬局薬剤師	0
卸等の管理薬剤師	0
登録販売者	0
事務 (総合職・一般職)	0
研修生 (病院・大学等)	0
その他	0
計	1

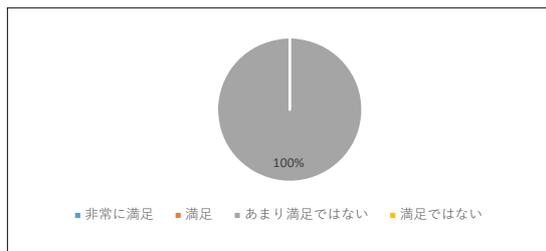


4) 就職先の満足度について選択してください。(満足度)

非常に満足	0
満足	0
あまり満足ではない	1
満足ではない	0
計	1

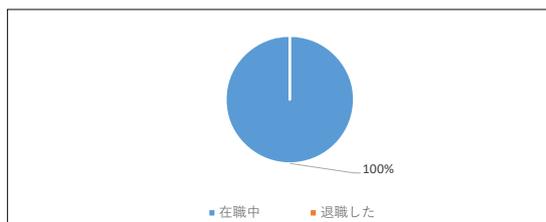
理由

医薬品の分析事業を行っているのに薬学部大学院を修了した人間を分析業務に配属しないため



5) 卒業後、最初に就職した就職先の在籍状況について選択してください。

在職中	1
退職した	0
計	1



6) 5)で退職したと回答した方のみ退職した時期を選択してください。

該当なし

7) 退職の理由について、差し支えない範囲で選択してください。(複数回答可)

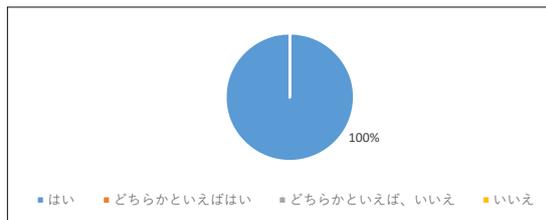
該当なし

8) 5)で退職したと回答した方のみ現在の就職先の業種をご回答ください。

該当なし

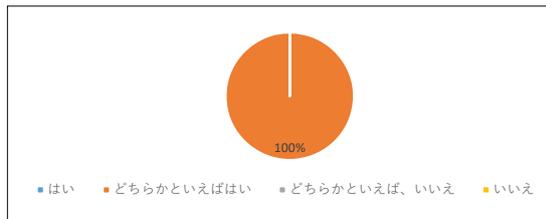
9) 大学院在学時の教育・研究活動に満足していますか？

はい	1
どちらかといえばはい	0
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



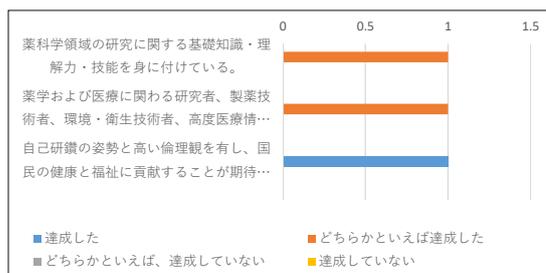
10) 大学院で学んだことは、就業先で役に立っていると感じますか？

はい	0
どちらかといえばはい	1
どちらかといえば、いいえ	0
いいえ	0



11) 現時点において、本学のディプロマ・ポリシーに掲げている以下の項目の達成度合いはいかがでしょう

	達成した	どちらかといえば達成した	どちらかといえば、達成していない	達成していない
薬科学領域の研究に関する基礎知識・理解力・技能を身に付けている。		1		
薬学および医療に関わる研究者、製薬技術者、環境・衛生技術者、高度医療情報提供者としての基礎的能力を身に付けている。		1		
自己研鑽の姿勢と高い倫理観を有し、国民の健康と福祉に貢献することが期待できる。	1			



12) その他、本学の教育・研究に関するご意見など、何かあればご自由にご記入ください。

令和6年度卒後調査まとめ
(令和4年3月 大学院薬学研究科薬学専攻修士就職先事業所)

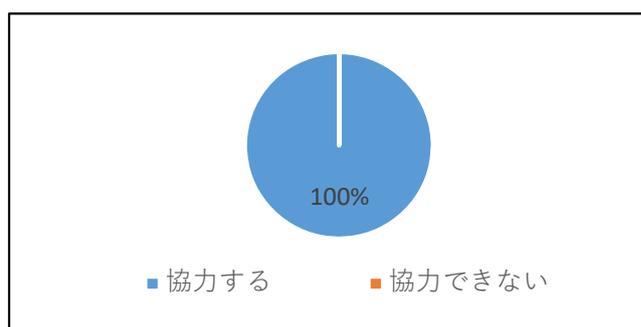
対象

卒後3年目 (R4.3月卒) の大学院薬学研究科修士 (1名) が在籍する事業所	1
回答事業所数	1
回答率	100%

回答期間：令和6年12月16日（月）～令和7年1月17日（金）

1) 調査回答について

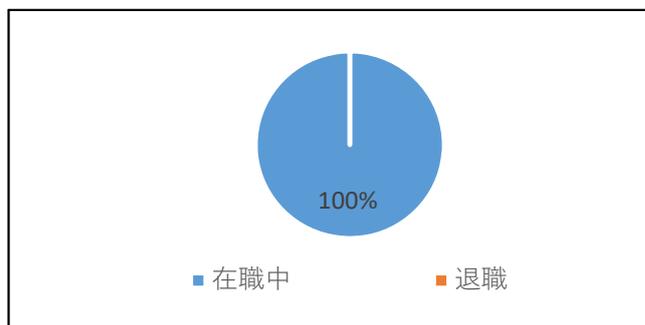
協力する	1
協力できない	
計	1



2) 在籍状況について

在職中	1
退職	
計	1

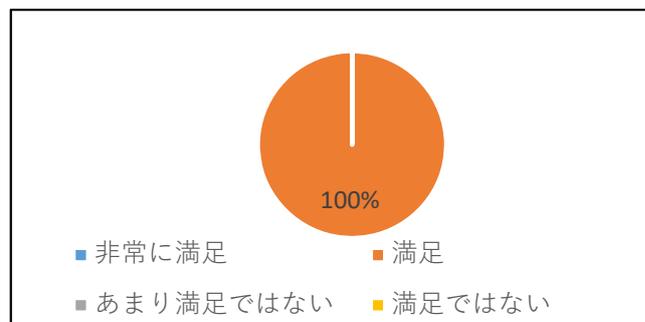
(名)



【以下、設問の対象者が複数人採用の場合は、総体的な観点からご回答をお願いします。】

3) 対象者について、どう感じていますか。該当するものを選択してください。

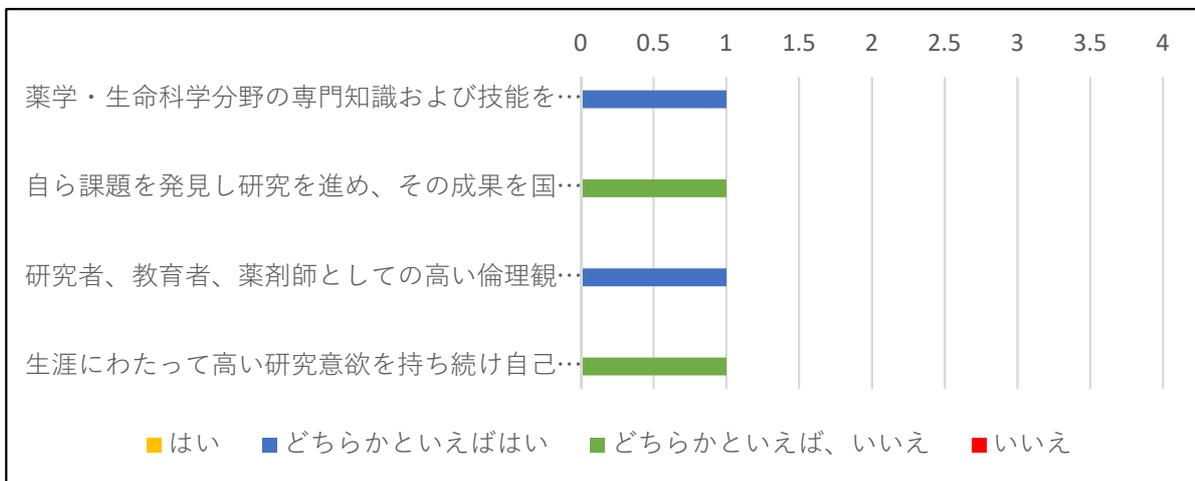
非常に満足	
満足	1
あまり満足ではない	
満足ではない	
計	1



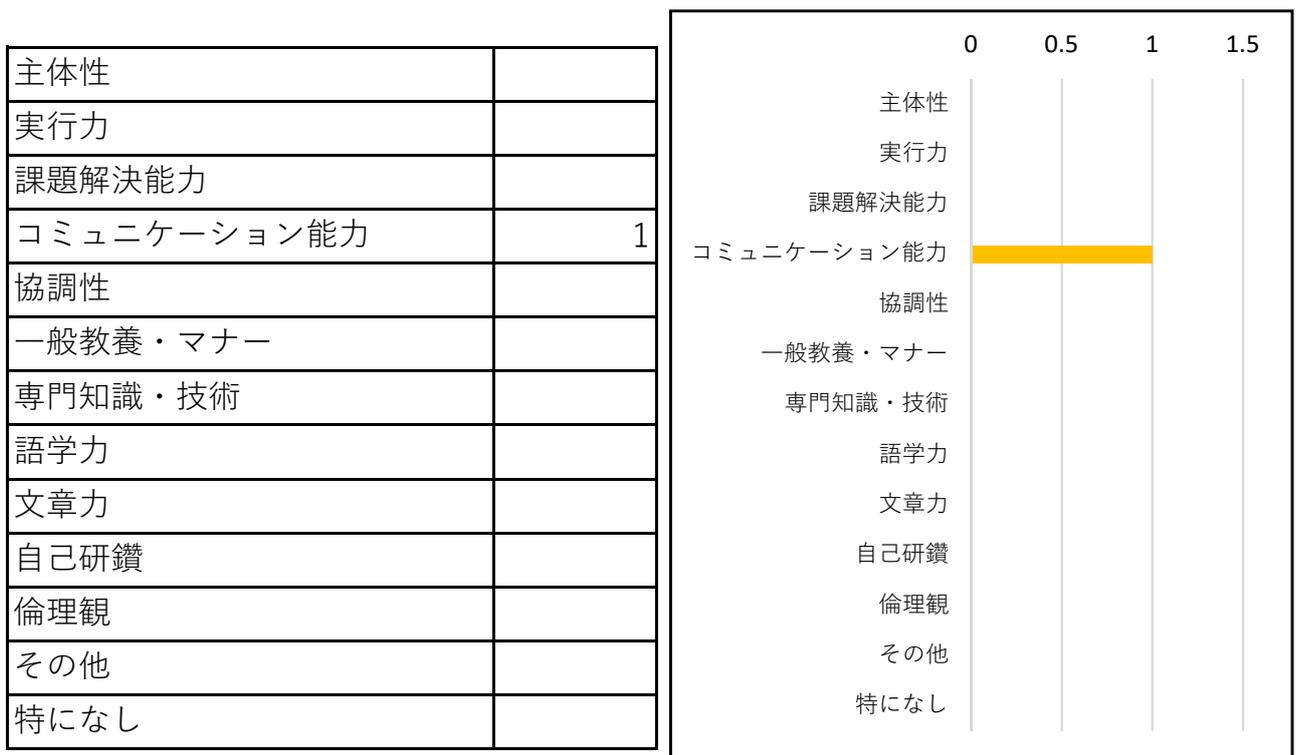
4) 対象者について、在学中に学んだことは、身につけていると感じていますか。

※設問4は、本学ディプロマポリシーを参考にご回答ください。

	はい	どちらかといえばはい	どちらかといえば、いいえ	いいえ
薬学・生命科学分野の専門知識および技能を習得し、国民の健康増進および社会福祉の向上に貢献する能力を身に付けている。		1		
自ら課題を発見し研究を進め、その成果を国際的に情報発信する能力を身に付けている。			1	
研究者、教育者、薬剤師としての高い倫理観を備えている		1		
生涯にわたって高い研究意欲を持ち続け自己研鑽を積むことが出来る。			1	



5) 対象者について、良い点（資質・能力等）について。（複数選択可）



6) 対象者について、不足する点（資質・能力等）について選択してください。（複数選択可）

主体性	
実行力	
課題解決能力	
コミュニケーション能力	
協調性	
一般教養・マナー	
専門知識・技術	
語学力	1
文章力	
自己研鑽	1
倫理観	
その他	
特になし	



7) 貴事業所で本学学生を採用選考するにあたり、重要視することを選択してください。（3つまで選択）

専門的な知識・技術	
基礎学力	
適性試験の結果	
主体性	
実行力	
課題解決能力	1
コミュニケーション能力	1
協調性	1
人柄	
今後の可能性	
語学力	
取得資格	
その他	



8) その他意見

令和6年度卒後調査まとめ
(令和4年3月 大学院 薬学専攻博士課程 修了生回答)

対象

卒後3年目 (R4.3月修了) の大学院薬学専攻博士課程修了生	1
回答者数	0
回答率	0%

回答期間：令和6年12月16日（月）～令和7年1月17日（金）